

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成25年1月24日 (2013.1.24)

【公開番号】特開2010-133562(P2010-133562A)

【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2009-275094(P2009-275094)

【国際特許分類】

F 1 6 C 17/10 (2006.01)

F 1 6 C 33/74 (2006.01)

F 1 6 C 33/10 (2006.01)

H 0 2 K 5/16 (2006.01)

H 0 2 K 7/08 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 17/10 A

F 1 6 C 33/74 Z

F 1 6 C 33/10 Z

H 0 2 K 5/16 Z

H 0 2 K 7/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月30日 (2012.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

固定構成要素に対して回転可能な回転可能な構成要素と、
前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間を流れるように動作可能な流体と、
前記流体を前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間に送り出すように構成された
少なくとも 1 つのテーパを付けられたスロットを含む毛細管シール構成要素とを備え、前
記少なくとも 1 つのテーパを付けられたスロットが第 1 の端部及び第 2 の端部を備え、前
記第 1 の端部における前記少なくとも 1 つのテーパを付けられたスロットの幅が前記第 2
の端部における幅とは異なっている、モータ。

【請求項 2】

固定構成要素に対して回転可能な回転可能な構成要素と、
前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間を流れるように動作可能な流体と、
前記流体を前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間に送り出すように構成された
少なくとも 1 つのテーパを付けられたスロットを含む毛細管シール構成要素とを備え、前
記毛細管シール構成要素が複数のリブを含む、モータ。

【請求項 3】

固定構成要素に対して回転可能な回転可能な構成要素と、
前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間を流れるように動作可能な流体と、
径方向外向きに螺旋状になり前記流体を前記回転可能な構成要素と固定構成要素との間
に送り出すように構成された少なくとも 1 つのテーパを付けられたスロットを含む毛細管
シール構成要素とを備える、モータ。

【請求項 4】

前記第 1 の端部における前記少なくとも 1 つのテーパを付けられたスロットの高さが前記第 2 の端部における高さとは異なっている、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のモータ。

【請求項 5】

前記毛細管シール構成要素が複数のリブを含む、請求項 1 または 3 に記載のモータ。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのテーパを付けられたスロットが径方向外向きに螺旋状になっている、請求項 2 または 3 に記載のモータ。

【請求項 7】

前記毛細管シール構成要素が少なくとも 1 つの換気穴を含む、請求項 1 から 6 のいずれかに記載のモータ。

【請求項 8】

前記毛細管シール構成要素が複数のテーパを付けられたスロットを含む、請求項 1 から 6 のいずれかに記載のモータ。

【請求項 9】

前記毛細管シール構成要素が、前記毛細管シール構成要素の軸方向に延出する表面上に配置されたリブを含む、請求項 1 から 6 のいずれかに記載のモータ。